

平成 28 年度学長の業務執行状況の確認について

平成 29 年 3 月 31 日
学長選考会議

学長選考会議は、広島大学長の業績評価の実施に関する申合せ(平成 26 年 6 月 10 日学長選考会議決定)第 3 に基づき、下記のとおり平成 28 年度学長の業務執行状況の確認を行った。

記

1. 経過

(1)平成 28 年度第 2 回学長選考会議(28.9.9)

平成 28 年度学長の業務執行状況の確認の実施方法、スケジュールについて検討を行い、平成 27 年度と同様に学長ヒアリング及び監事の意見聴取を基に実施することとした。

(2)平成 28 年度第 3 回学長選考会議(28.11.9)

平成 28 年度学長の業務執行状況の確認について、学長ヒアリングの資料となる報告書の検討を行った。また、監事から平成 28 年度監事監査状況の報告を受け、意見交換を行った。

(3)平成 28 年度第 4 回学長選考会議(29.1.12)

平成 28 年度学長の業務執行状況の確認について、以下の資料に基づき、学長ヒアリングを実施した。

- ・平成 28 年度学長の業務執行状況の確認の報告書
- ・学長メッセージ(第 22 号～第 40 号)

(4)平成 28 年度第 5 回学長選考会議(29.3.16)

平成 28 年度学長の業務執行状況について、最終的な確認を行った。

2. 確認内容

○ 学長としてのビジョンについて

「広島大学の長期ビジョン ―10 年から 15 年後の広島大学像―」(平成 21 年 6 月 23 日)の改訂に取り掛かり、学長の諮問機関として設置している未来戦略会議と検討を進めて、学長としてのビジョンを多面的に構築し、推進していることを確認した。

○ 大学改革に向けた取組について

学部・大学院組織整備(案)を策定し、学部・大学院を発展的に整備しようとしていることを確認した。

○ ガバナンス体制の構築について

教員人件費を部局ごとの管理から全学管理に移行した上で、全学一元化した教員組織である「学院」を設置し、「全学人事委員会」による戦略的な人員配置を実施していることを確認した。

また、学長のリーダーシップの下、教育力・研究力の強化を目的とした運営体制等の見直しをしていることを確認した。

○ 対外的取組について

精力的に海外の大学を訪問し、台湾、イタリア、スペイン等の大学との交流協定締結や、中国の学部4年生を対象とした「森戸高等教育学院3+1プログラム」を新設するなど積極的なグローバル化対応を実施していることを確認した。

また、新聞による「広大広告」や広島大学を紹介した新書本「広島大学は世界トップ100に入るのか」等において本学の最新の研究成果や大学改革の取り組みなどを学外に向けて積極的に情報発信していることを確認した。

○ その他

国立研究開発法人理化学研究所の一部機能移転により、イノベーションプラザに新たに「ライフサイエンス共同研究拠点」が設置され、今後、地元自治体等と連携し、細胞医療・細胞生物資源開発分野等の将来を見据えた共同研究が進められようとしていることを確認した。

3. 確認結果

学長選考会議は、平成28年度学長の業務執行状況について学長ヒアリング等を実施し、上記確認内容のとおり、学長の業務が着実に執行されていることを確認した。なお、学長としてのビジョンや大学の進むべき目標を構成員と共有することは極めて重要であり、構成員が一丸となって推進されることを期待する。